

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】 環境に配慮した事業活動を行うための方針等策定を予定しています。													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	毎年発行するディスクロージャー誌に大豆油インクや再生紙を利用するなど、資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいます。													12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	「コンプライアンス・マニュアル」にて不正の防止や職員として行動規範を明記するとともに、同マニュアル等に基づいた定期的な研修会の実施により防止に努めています。																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	「コンプライアンス・マニュアル」にて不正の防止や社会的規制の遵守を明記するとともに、同マニュアル等に基づいた定期的な研修会の実施により防止に努めています。																			16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当会で使用するパソコンは、インストールされているソフトウェアおよびライセンスについて、管理者にて適切に管理されています。併せて、各種権限も制限しており、無断でのソフトウェアインストールを禁止しています。それにより、海賊版など不正なソフトウェアを使用出来ないようにしています。									8.2	9	8.3									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	ホームページにて公表している「個人情報保護方針」のもと適切な管理を行っています。また、定期的な研修会の実施により、管理体制の維持・強化を図っています。																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはありません。																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	「JA長野県グループとしてのSDGsへの取組方針」を組織決定するとともに、当会SDGs方針の周知も図るなか、グループ内での認識の共有に取り組んでいます。					5				8		10			12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	お客様にネットバンクをご利用いただくにあたっては、不正送金対策ソフトの提供や高度な暗号化技術、ワンタイムパスワードの入力などにより、安全性を確保しています。				3.9										12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	商品の開発にあたっては「リーガル・チェック内規」に基づいた確認などを実施し、安心安全なリリースに努めています。										9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ゼロカーボンなどに対応した「地域活性化ローン」を取り扱っています。						6								12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	「カードローンlip」の提供にあたり、利用額に応じて子ども食堂などにお米が寄付される仕組みを導入しています。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域社会に根差した組織としての自覚を持ち、いのちを育む農業を基本に据え、安心安全な生活環境・地域をつくることを「経営理念」に掲げ対応しています。				4						9		11	12			14	15		17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	子供たちの農業に対する理解の深めや、農業ファンづくりによる地域の発展に貢献することなどを目的として、県内の全小学校と特別支援学校にオリジナル教材本などを配布する、「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでいます。				4								11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ	「懸賞品付定期貯金Slow風土」において、懸賞品として県内各地の自慢の一品である「信州の食」を取り揃えるなか、地産地消に取り組んでいます。									8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	年1回開催される役員員全体集會にて経営理念や経営目標を共有するとともに、毎月開催される会議にて理事長より経営目標を含むコメントが示され、同コメントを全職員に共有しています。										8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「コンプライアンス・マニュアル」にて法令遵守の考えや職員として行動規範を明記するとともに、同マニュアル等に基づいた定期的な研修会の実施により啓発に努めています。																				16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	SDGs対応や社会貢献活動について専門部署（経営企画部）にて取り組む体制を整備しています。																				16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	県下JAおよび農家組合員などとの対話を実施し、及ぼす影響を把握するなか適切に対応しています。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	「統合的なリスク管理体系」を定め、「リスク管理基本方針」に則った適切な対応を図ることとしています。また、対応状況などは毎月開催のリスク管理関連会議にて共有を図っています。																				16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	「経営理念」および「経営方針」のもと、CSRの考えに基づき、地域に根差した組織として責任を持った対応に努めています。																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	「事業継続計画(BCP)」を定め、事故や災害など緊急時の対応に備えています。										9		11			13	13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	税理士など専門家と連携するなか、取引先からの事業承継にかかる相談などに対応する体制を整備しています。										8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）